

新十津川町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月18日設置



新十津川町

概要

本町は、空知管内中空知に位置し、人口6,535人(R2. 1. 1現在)、総面積は495.47km²を有する。町内では、バス事業者が運行する路線バスやデマンド型の乗合タクシー・ワゴン、スクールバス、高齢者向けの福祉バス等、目的別で多様な交通体系を運行している。地域の公共交通を取り巻く環境は、路線バスが乗車数の減少や運転手不足により一部路線の廃線が見込まれていることから、今後、多様な交通体系を交通輸送全体としてとらえ、効率性を重視した持続可能な交通体系とする必要がある。

○地域公共交通の現況

- ・北海道中央バス(株)(町内4路線)
- ・乗合タクシー(1路線)
- ・乗合ワゴン(1路線)
- ・スクールバス(4路線)
- ・無料福祉バス(週1回5方面)

○地域公共交通の課題

- ・中央バス路線の廃線による交通体系の再編
- ・農村地域のため住民の居住地が点在

○調査の主な内容

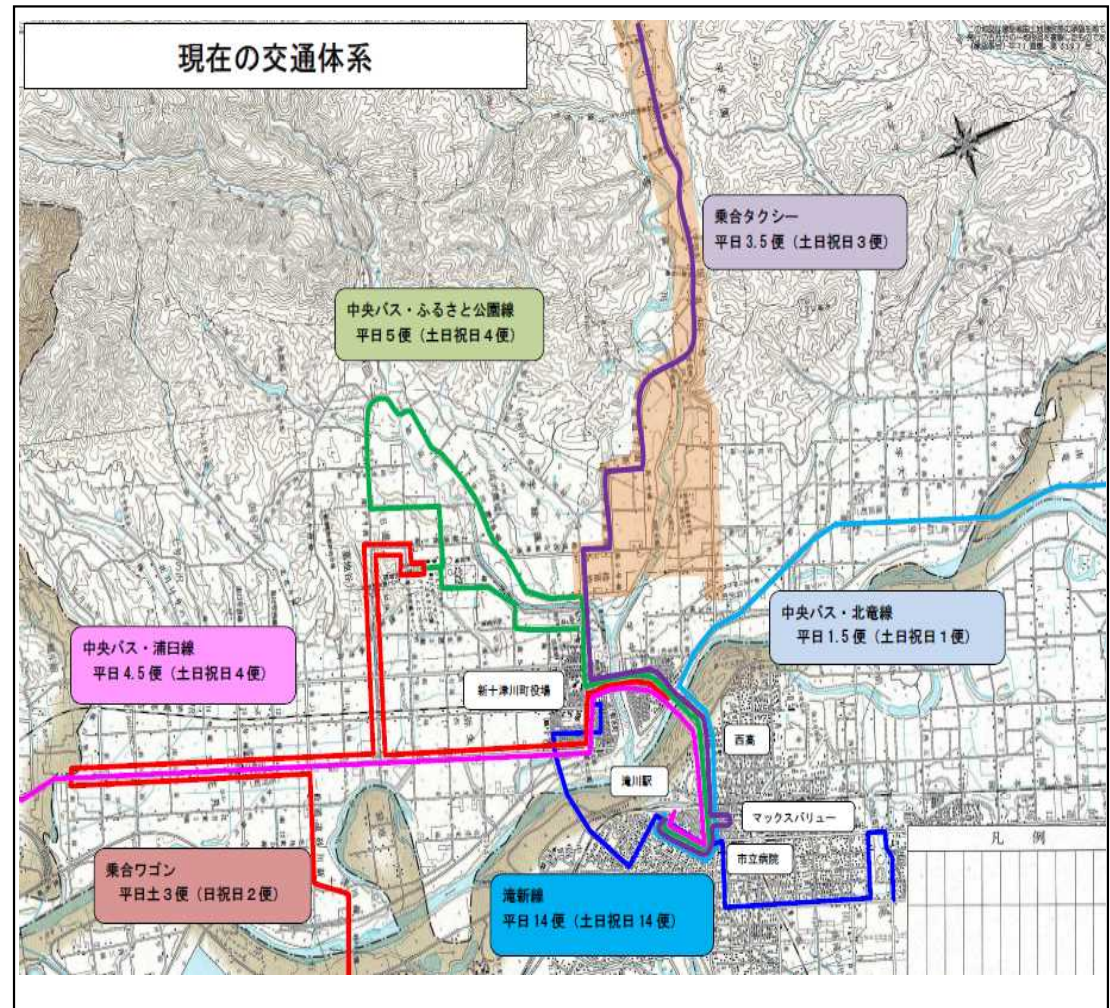
- ・公共交通等利用者に関する利用状況の調査及び分析
- ・地域における交通の現況と課題整理
- ・地域に適した交通の検討

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 6月 第1回協議会(書面会議)を開催
 - ・令和2年度事業計画・予算等の審議
- 令和3年1月25日 第2回協議会を開催
 - ・地域公共交通計画の審議

○協議会住民部会開催状況

- 6月11日、11月19日、令和3年1月15日
- ・交通計画の協議



新十津川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【事業内容】

- ・公共交通等利用者に関する利用状況の調査及び分析
アンケート…乗合ワゴン・タクシー利用者アンケート、高齢者アンケート、町民アンケート、高校生アンケート
- ・利用者分析…中央バス、乗合タクシー・ワゴン、スクールバス 無料福祉バス
- ・地域における交通の現況と課題整理
- ・地域に適した交通の検討

【結果概要】

- ・基礎的データの整理、分析などにより、地域の公共交通の状況を整理した。
- ・アンケート分析の結果により住民の時間帯別、場所別の移動需要、住民のニーズを把握できた。
- ・公共交通の利用実態やアンケート結果から地域に適した交通形態や走行ルートについて検討し、協議会に諮るための計画素案を作成。
- ・今後の協議会の検討を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。

《アンケート調査結果から見てきた課題整理》

乗合ワゴン・タクシー利用者アンケート結果

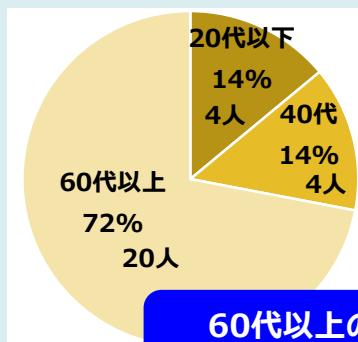
【調査概要】

利用目的や利用頻度、運行してほしい時間帯について調査（回答28）

【調査結果】

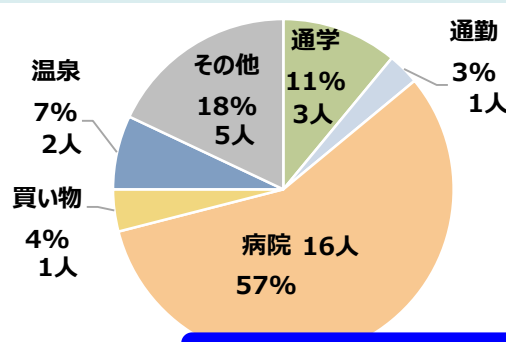
砂川、滝川方面の**病院**への高齢者の利用が多く、**路線維持や利用実態に応じた増便**についての要望が寄せられている。

Q 利用者の年齢



60代以上の利用が7割以上

Q 利用目的



約6割が通院利用

高齢者アンケート結果

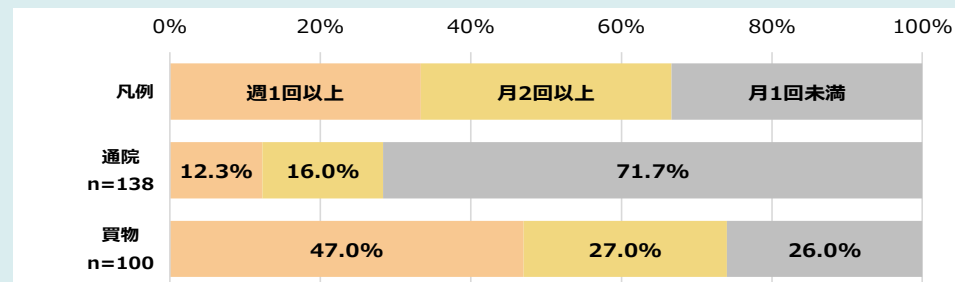
【調査概要】

最近1年間の公共交通の利用目的と利用頻度や公共交通で不便を感じる点について調査（配布2,164・回収1,577）

【調査結果】

- ・バスによる**通院頻度は低く**、月1回未満が多くなっている。
- ・一方で**買い物は週1回以上利用**している割合が比較的高くなっている。
- ・公共交通への意見として、**便数が少ない、利用したい時間がない**等の声が寄せられている。

Q 公共交通の利用目的と頻度



買物は週1回以上の割合が高い

新十津川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

町民アンケート結果

【調査概要】

通勤や通学、通院、買い物等の目的別に、移動手段や行き先、出発時間や帰宅時間を調査した。あわせて、最近1年間の公共交通の利用状況を調査した。(配布600・回収284)

【調査結果】

- 公共交通利用は全体の2割程度にとどまっており、**自家用車での移動**が中心となっている。
- 通学の行先は**滝川市・砂川市への流動**が高い割合であり、買い物・通院も同様。
- 停留所の場所、便数の増加**や**目的の場所に行くバスが無い**ことに対する要望が寄せられている。

高校生アンケート結果

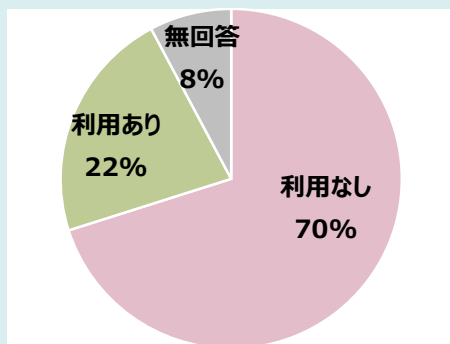
【調査概要】

通学先や夏期と冬期別での通学手段、出発時間や帰宅時間について調査した。(配布177・回収99)

【調査結果】

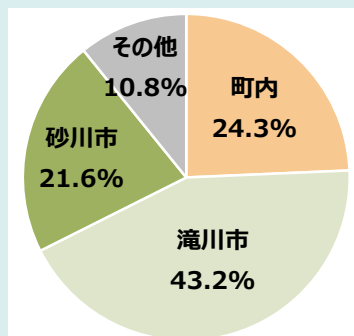
- 本町に居住する生徒の約8割が滝川市内に通学しており、新十津川市街地からは自転車で20分程度の距離であるため、**夏は自転車で通学する生徒が67%を占めている**。
- 夏期に徒歩自転車の生徒の冬期の交通手段は自家用車による送迎が中心となっている一方、**約3割の学生は中央バスを利用**している。
- 公共交通を利用しない理由として**運行本数が少ない、運行時間が不便**の割合が高くなっている。
- 利用環境が向上した場合、**約5割が公共交通を利用**すると回答している。

Q 最近1年間の路線バス、乗合ワゴン、乗合タクシーの利用



利用ありは
2割程度

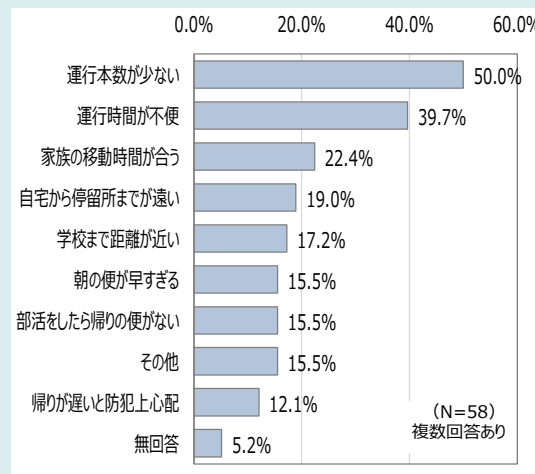
Q 通勤・通学先



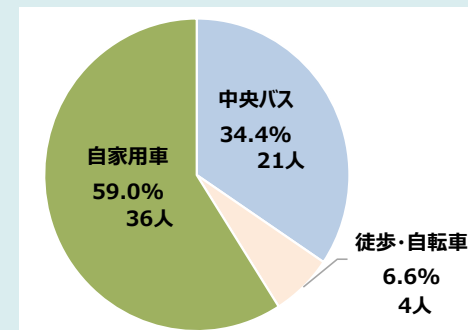
町内以外では…

滝川市・砂川市の割合が高い
※買い物、通院も同様

Q 公共交通を利用しない理由



Q 夏期に徒歩・自転車の冬期の交通手段



3割が
中央バスを利用

新十津川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

本町の輸送資源の現状把握と分析

本町で運行している交通資源の現状把握と分析を行った。これにより利用人数を把握し、必要となる車両の大きさが把握できた。

《公共交通》

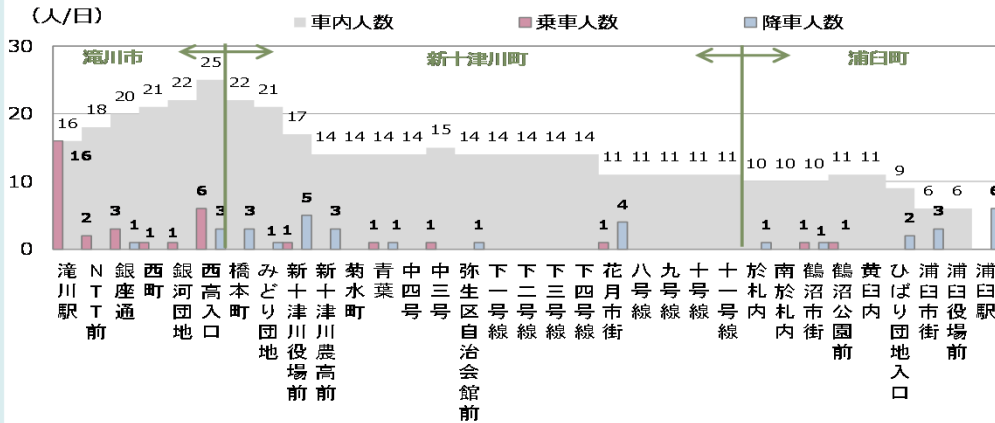
- ・中央バス（滝川浦臼線、滝川北竜線、ふるさと公園線、滝新線）
- ・乗合タクシー ・乗合ワゴン

《町による送迎》

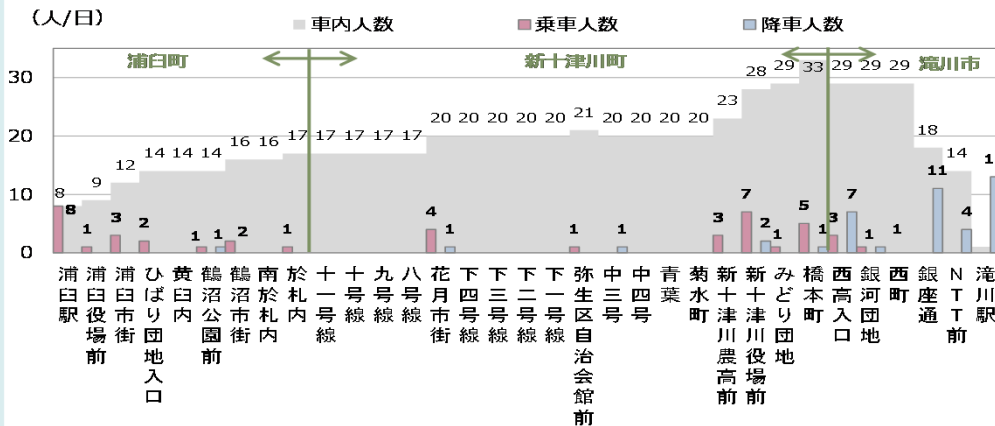
- ・高齢者無料巡回バス ・ゆめりあ部会送迎 ・スクールバス

中央バス（滝川浦臼線）

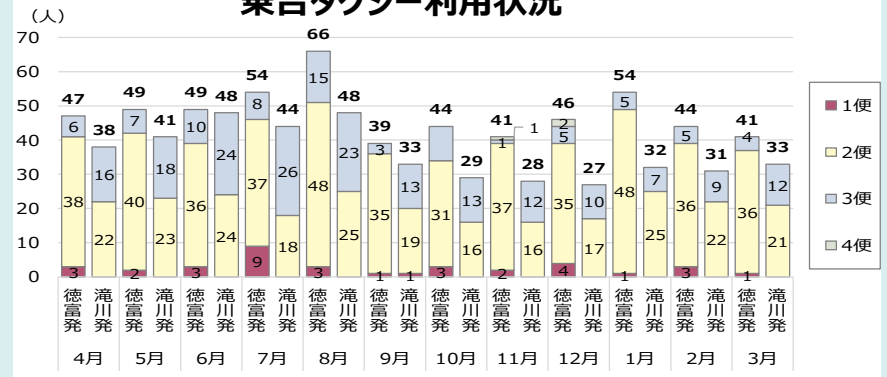
【乗車人数及び車内人数（滝川発）】※4便



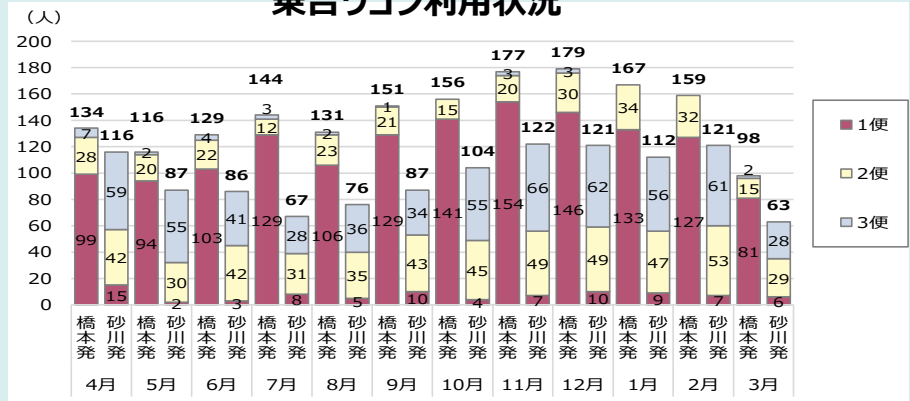
【乗車人数及び車内人数（浦臼発）】※5便



乗合タクシー利用状況



乗合ワゴン利用状況



高齢者無料巡回バス利用状況

	大和	上総進・弥生	みどり・橋本	徳富・総進	花月	合計
利用人数	179人	49人	170人	145人	122人	665人
運行日数	30日	22日	25日	35日	32日	144日
1便平均	3.0人	1.1人	3.4人	2.1人	1.9人	2.3人

スクールバス利用状況

路線名	バス車両	規定座席	R2年利用状況（小学生/中学生）
大和方面	60人乗	49座席	24人（17人/7人）
ふるさと方面	42人乗	37座席	15人（13人/2人）
花月方面	64人乗	53座席	48人（31人/17人）
西部方面	28人乗	22座席	16人（14人/2人）

新十津川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

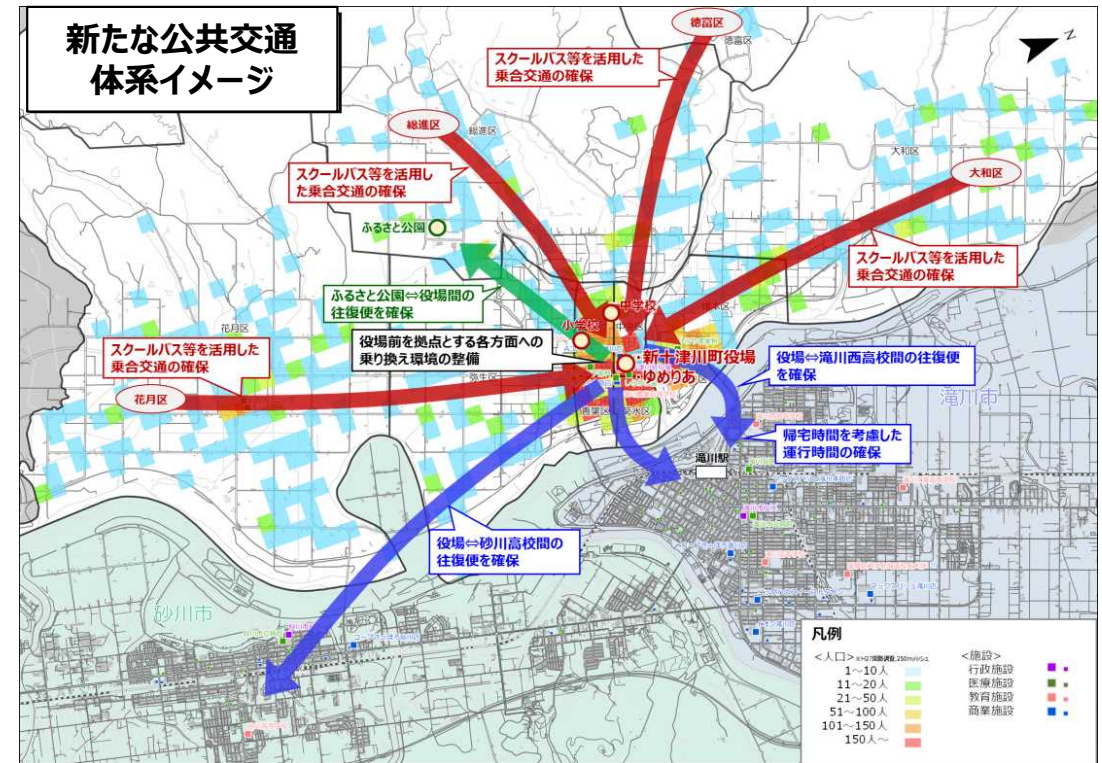
●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

◆中央バスの滝川北竜線、滝川浦臼線、ふるさと公園線の廃線が予定されていることから、町内で運行する公共交通、福祉施策による高齢者送迎、小中学校のスクールバスによる交通手段を再編する。

◆既存の交通手段を有効活用するため、高齢者送迎を廃止し、町内全域を網羅しているスクールバスの登下校便に一般利用者を混乗させる。登下校便以外の時間帯は、民間事業者による営業運行(ワゴン車両)と併設することで、地域住民の生活に不可欠な公共交通を確保する。

◆役場庁舎前をターミナル化させ、町内便と町外便の接続場所として運行の効率化を図る。

◆町内便及び砂川線については地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、その他の町外便は地域間幹線国庫補助金又はフィーダー系統国庫補助金の活用を見込んでいる。



●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

・事業は、計画どおり適切に実施されているものとする。

・今後、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。